

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2026 年 3 月 25 日 12:00～13:30

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 8 号館 4 階 844 教室

出席：11 名

議事の概要は以下のとおりである。

1. 教育シンポジウムの打合せ

委員会後の 14:15 から行われる教育シンポジウムの運営に関する打合せを行った。会場での担当係の割り振りを決めるとともに、参加者へのアンケートの内容を確定した。

2. 次回の教育シンポジウムについて

次回の教育シンポジウムは、生成 AI をテーマとすることになった。生成 AI の大学数学の実力に関する講演実績のある大阪大学の降旗大介氏に講演を依頼することとなった。他の講演者については、後日メールにて候補者を推薦・協議の上、依頼することとした。（なお、後日、降旗氏から了承を得るとともに、城西大学の杉谷宜紀氏にもご登壇いただけることになった。開催日は秋季総合分科会の他の行事との関係から、第 1 日目の 9 月 1 日（火）となった。）

3. 次年度の委員長・副委員長、委員の交代について

桑田委員が通算 8 年までという規定に従い退任、その他の委員は継続となった。委員長、副委員長は留任となった。

【教育委員会主催教育シンポジウム】

日時：2026 年 3 月 25 日 14:15～16:45

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 6 号館 2 階 623 教室

今回の教育シンポジウムは、「次期学習指導要領はどうなる？」というタイトルで行われた。司会は、佐藤隆夫 教育委員会副委員長が務めた。シンポジウム開会に際し、石毛和弘 日本数学会理事長による挨拶があり、続いて川添充 教育委員会委員長がシンポジウムの趣旨説明を行った。

最初の講演は、中島啓氏（東京大学）による「算数・数学ワーキンググループの議題と、私が発言したこと」であった。中央教育審議会の教育課程部会 算数・数学ワーキンググループ委員として、同ワーキンググループで進行中の議論の内容について紹介していただくとともに、中島氏自身の発言を引きながら、次期学習指導要領に対する懸念事項の指摘がなされた。

次の講演は、伊藤由佳理氏（東京大学）による「日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会の見解について」であった。次期学習指導要領について発出予定の「見解」の内容について紹介いただいた。見解の内容は多岐に渡るが、高等学校の必修修科目「数学 I」のあり方、デジタル技術活用、統計教育、STEM/STEAM 教育および理工系の人材育成について詳

しく紹介いただいた。

今回も各講演後に質疑応答の時間を設け、さらに別途ディスカッションの時間も設定した。ディスカッションでは、様々な観点から質問が出されたが、主に高等学校の「数学Ⅰ」の改訂内容について活発な議論が行われた。参加者は85名であった。

文責 教育委員会委員長 川添 充